

# 環境配慮型庄原市新庁舎



## <概要>

建築面積：1,685.18 m<sup>2</sup>  
 延床面積：7,429.47 m<sup>2</sup>  
 最高高さ：24.2 m  
 階数：地上6階 地下1階  
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造

## <事業費>

庁舎工事等：26.4 億円  
 外構工事等：4.5 億円  
 用地・補償：6.5 億円  
 計：37.4 億円

## <財源内訳>

国庫補助金：2.8 億円  
 県交付金：2.5 億円  
 起債：25.7 億円（このうち国が7割負担）  
 庁舎建設基金：6.1 億円  
 一般財源：0.3 億円

この庁舎は、みどり豊かな庄原市の気候や自然、産業特性、環境エネルギーなどを取り入れた、環境にやさしいしくみを持っています。

## ●庄原の木●

①市民ホール、②待合ホール、③シンボルツリー、④議場、⑤熱源ボイラー燃料の木質ペレットには、庄原の木材が使われています。

## ●庄原の土●

⑥シンボルツリーの幹の床タイルは、この庁舎が建てられる時に敷地から出た粘土を利用して作られています。

## ●庄原の水●

⑦地下には、雨水を利用するための雨水貯留槽があり、トイレ洗浄水に利用しています。

## ●リユース●

⑧議場の家具は、旧庁舎や各支所の議場家具に手を加え、この庁舎で新しくよみがえっています。

## ●庄原の熱●

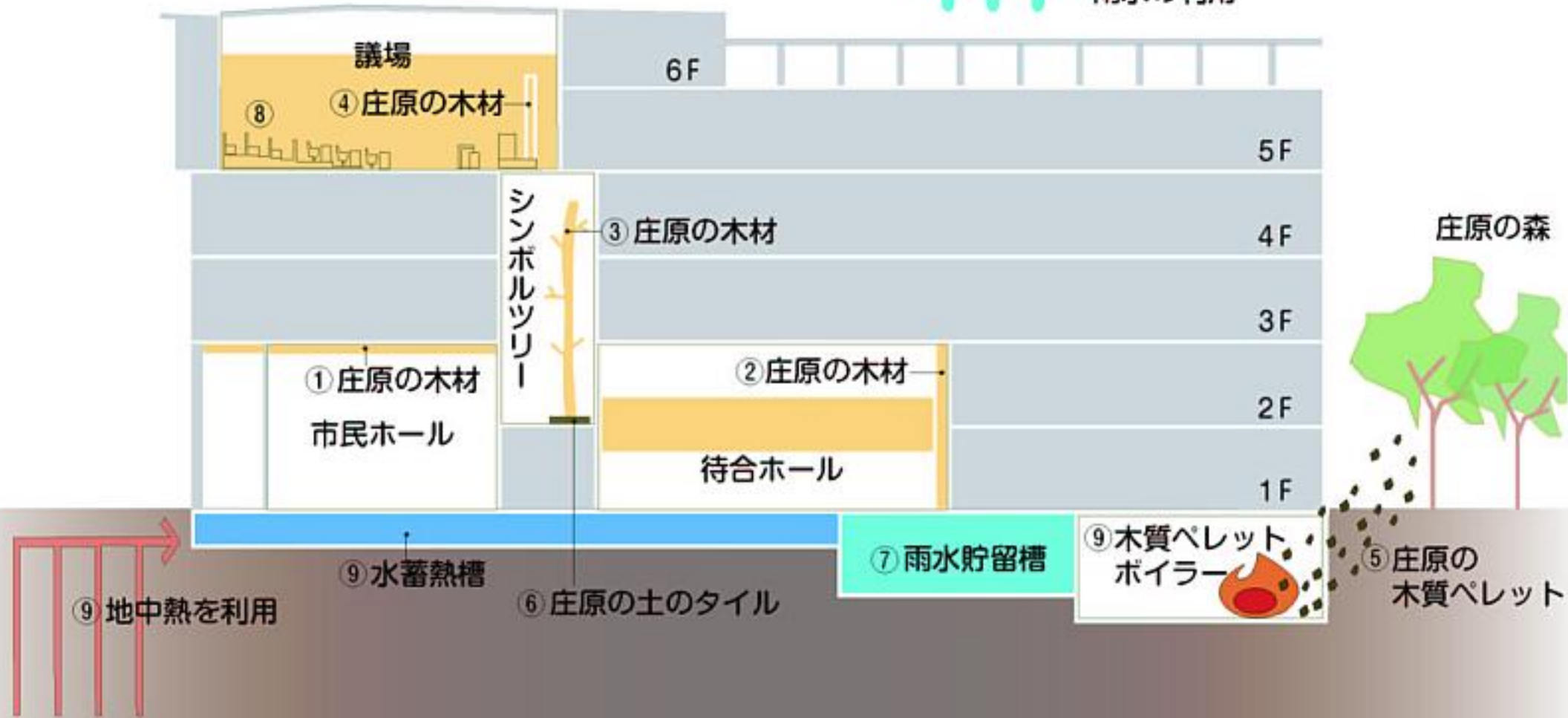
⑨庁舎の空調熱源として、地中熱と木質バイオマスという環境エネルギーを取り入れています。敷地周辺の地中熱を、安価な深夜電力を利用して、地下ピットにある水蓄熱槽に冷温水として蓄えています。また、庄原の森で育った木材等を原料とする木質ペレットを、ペレットボイラーで燃焼した熱を利用しています。

## <事業の概要>

空調熱源設備 全体事業費：2.1 億円  
 地中熱：1.2 億円 うち国庫補助金：0.49 億円  
 バイオマス：0.9 億円 うち国庫補助金：0.35 億円

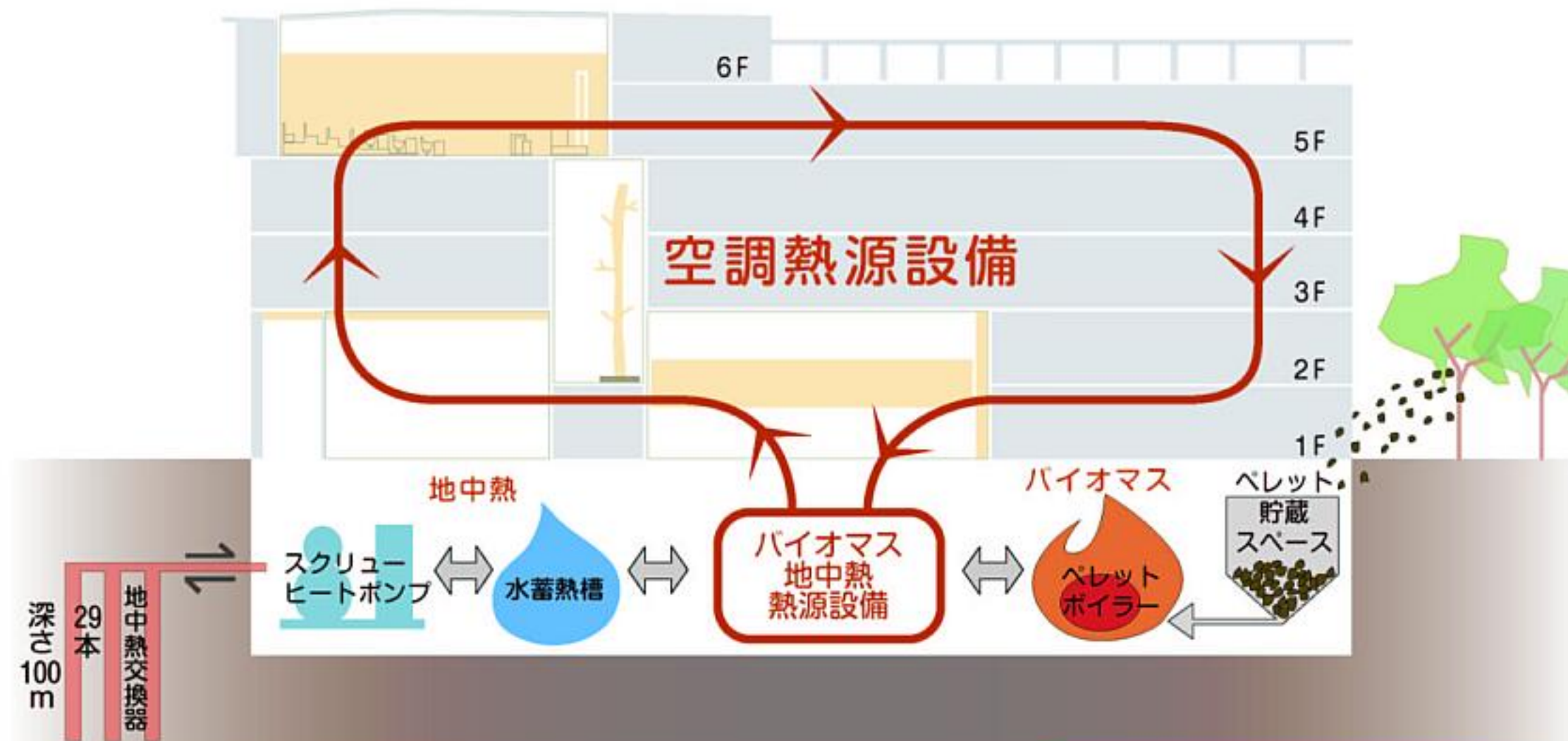
## <事業の効果>

年間 92ton のCO<sub>2</sub>削減  
 年間 40% のランニングコスト  
 (燃料費含む)削減



環境配慮型庁舎のイメージ

庄原市庁舎は、自然環境を大切にしながら、ともに歩んでいく姿を実現しています。



空調熱源システムのイメージ